ハイライト部分は語順が固定、茶色の縦連続枠はよく順が入れ替わります。緑色の「とき」を表す表現は複数使えます。『だれ何（を／に）』では値段や時間、距離なども使われます。

1

付加（頻度、still, also, __lyなど）

等接・繋

だれ何が／は

どうする

A だれ何を／に

B →→スキップ→→

C だれに　何を

D だれ何を／に　何と どんなだ (to) ～こと

どのように

ど こ

～するには／～するのに to ～

～しに／～するのに ～ing

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

い つ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

だれ何のために／目的で／を求めて／にとって
だれ何について／のことを／に対して／が原因で／
何語で、だれ何と一緒に／伴って／なしで
だれ何より／のうちで／と同じくらい／のように
どんな行事・機会・点・状況で、何として など

青網掛け部分は主語（S）、灰色網掛け部分は動詞（V）、
オレンジ網掛け部分は目的語（O）、黄色網掛け部分は補語（C）

2

2-B～2-Dの付加

2-Aの付加

等接・繋

だれ何が／は

A イコール

B 五 感

C な る

D ままでいる

だれ何／どんなだ

どのように

ど こ

～すること／～するには to ～

～するのに ～ing

…ということ that 節

その他

～すること to ～

何 回

どのくらいの間

何時に

い つ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

主語が仮（形式）主語 it の時の真主語

3

付加

等接・繋

A （特定する語）だれ何は

B There

C Here

be動詞（いる・ある）

A →→スキップ→→

B （数量詞）だれ何が

C だれ何が／は

ど こ

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

い つ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

3-Cは主語が代名詞の場合、be動詞の前

4

be の代わりに get, become の場合もあり

等接・繋

だれ何が／は

どうされる（be+過分）

付加

A →→スキップ→→

B 何を

C ～に to / ～のために for だれに

D 何と どんなだ to ～こと

どのように

だれ何によって

ど こ

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

い つ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

ア． 名詞句の図 （普通名詞編）

小道具3点セット
原則としてどれか１つ

a(n)
こそあの
☆さんの

いくつでもよい

形容詞

普通名詞

① 前置詞句・副詞句
② to＋動詞原形
③ 関係代名詞節
④ 動詞ing…
⑤ 動詞過去分詞…
⑥ 主語＋動詞…

詳は＋動詞…
詳を＋主語＋動詞…

※ ⑦～⑨は高校で学習します。

「こそあの」は、this, that, these, those, the
「☆さんの」は、my, your, his, her, its, our, their, ☆'s

イ． 名詞句の図 （-one, -body, -thing編）

いくつでもよい

someone/-body/-thing
anyone/-body/-thing
everyone/-body/-thing
no one/-body/-thing

形容詞

⑩ 前置詞句・副詞句
⑪ to＋動詞原形
⑫ 関係代名詞節
⑬ 動詞ing…
⑭ 動詞過去分詞…
⑮ 主語＋動詞…

詳は＋動詞…
詳を＋主語＋動詞…

ウ． 名詞句もどきの図 （疑問詞編）

疑問詞(句)
who, what □, how ○, where, when, why, which □, whose □

⑯ to＋動詞原形
⑰ 主語＋動詞…
⑱ 動詞…